

SUZUKA RIVER



国土交通省 三重河川国道事務所 鈴鹿出張所

鈴鹿出張所の話題（特定外来植物）

オオキンケイギク、アレチウリの浸食が進んでいる！

★特定外来生物（オオキンケイギク、アレチウリ）の浸食が進んでいる！

昨年6月に発行した「SUZUKA RIVER」にも記載させていただきましたが、昨年度の除草工事において、オオキンケイギク、アレチウリが自生していることが確認されました。

オオキンケイギクは、鈴鹿川本川では左岸小倉橋の上流、右岸亀山大橋下流、鈴鹿川派川では左岸近鉄橋梁の上流、内部川では右岸矢矧橋上流、右岸前川橋上流で自生していることが確認されました。

また、アレチウリについては、内部川では右岸矢矧橋下流で自生していることが確認されました。なお、アレチウリについては、毎年7月に内部川クリーン作戦で右岸矢矧橋下流の駆除を行っています。

確認されたオオキンケイギク、アレチウリについては、伐根→乾燥→焼却処分を行っています。

★再度勉強しようオオキンケイギクとアレチウリ

特定外来種は、飼育、栽培、保管運搬、販売、譲渡、輸入、屋外に放つことが原則禁止されており、違反をした場合は罰則が課せられます。

では、それぞれの特徴について簡単に勉強しましょう。

◆オオキンケイギク（キク科）

強靱な性質のため全国的に野生化し、貴重な植物への影響が懸念されています。開花期は5月～7月でキクによく似た花をさかせます。高さは0.3m～0.7m程度です。そろそろ開花時期ですが、花びらの先がギザギザになっているのが特徴です。

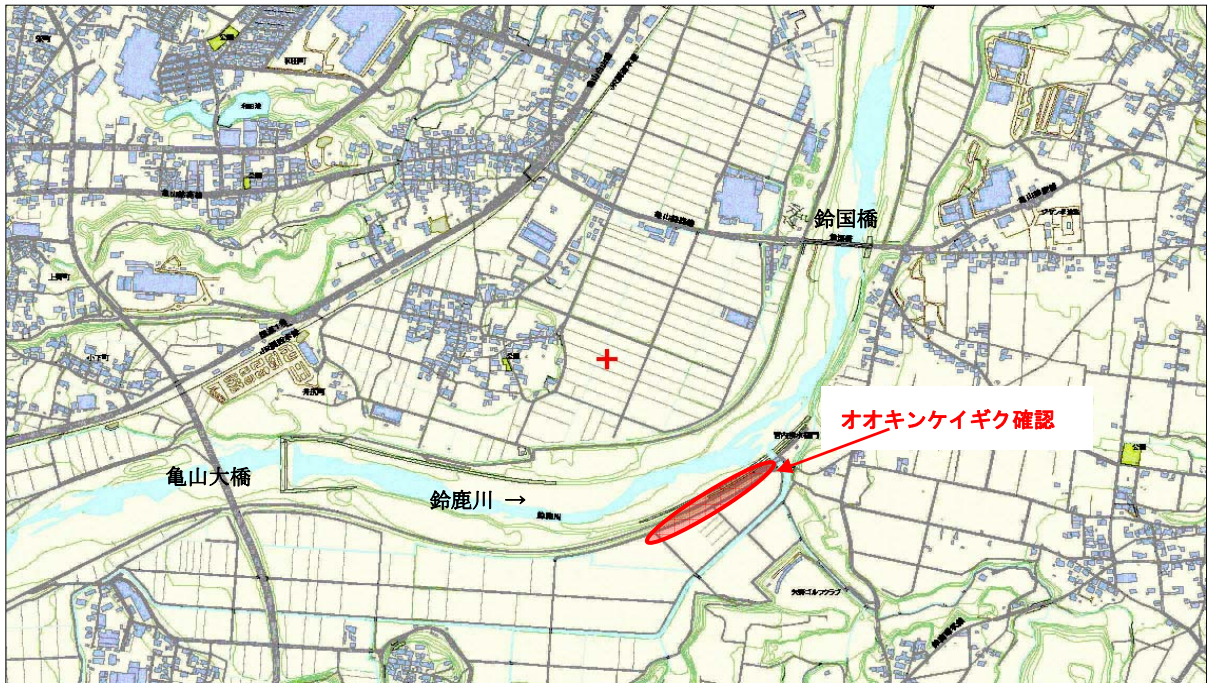


◆アレチウリ（ウリ科）

生育速度が非常に速いつる性植物で長さ数m～数十mになり、群生することが多い。除草工事においても群生を確認しています。開花期は8月～10月で、果実は鋭い棘を密生させている。また、1株当たり400～500個の種子をつけるが、25,000個以上との報告もあり、アレチウリが大量に自生している場所では、他の植物がほとんど生育しない結果もあります。



★ 鈴鹿川水系で確認された外来種（オオキンケイギク、アレチウリ）の位置図



※鈴鹿川・内部川・安楽川・派川に関することについてご意見やご要望がありましたら下記の連絡先までお願いします。

所在地 〒510-0874

四日市市河原田町1962-2

お問い合わせ

電話 059-345-5593

FAX 059-346-4907

E-mail : mie-suzuka@mdrc.go.jp

